**【書式】扶養義務等にかかる金銭債務の間接強制申立ての申述書（債権者提出用）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　令和　　年（ヲ）第　　　　　　号間接強制申立事件　　　　　　　　　　申　　述　　書　（債権者用）　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　債権者　　　　　　　　　　　　印　　間接強制の申立てに関し、債権者（私）の言い分は、次のとおりです。１　全体に関する言い分　 債務者（相手方）のこれまでの支払状況　　□　まったく支払われたことがない。 　□　特に催促したことはない。 　□　催促したが支払われなかった。　　□　一部支払われた。　　　□　支払われた部分は、　□　任意で支払われた。 　　 　□ 私が催促して支払われた。　　　□ 未払分について　　 □　特に催促したことはない。 　　　　　　　　　　　　　　□　催促したが支払われなかった。　　債務者は、未払分について　　□　支払うことができるかどうか不明。　　□　全額を支払うことは可能だと思う。　　□　全額を支払うことは難しいかもしれないが、一部を支払うことは可能だと思　　　う。　　□　一部であっても支払うことは難しいかもしれない。　　債務者の財産、収入、支出の状況は、公正証書を作成した時点と比較して　　□　大幅な変化があるかどうか不明。　　□　大幅な変化はないと思う。　　□　大幅な変化があると思う。　　　□　財産が（□　増加、□　減少）した。　　　□　収入が（□　増加、□　減少）した。 |  |
|
|  | 　　　□　支出が（□　増加、□　減少）した。 |  |
|
|  | ２　債務者の財産（ただし、不動産を除く。）　□　債務者には財産があるかどうか不明。　□　債務者には財産はまったくないと思う。　□　債務者には財産はあると思う。 　　種類：　□　現金　□　預貯金 　□　外貨預金　□　株式　□　投資信託　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） 　また、私が知っている債務者の財産は、以下の表のとおり ※　例にならい、知っている範囲で記入してください。 |  |
|  例 例 |  取引先 |  取引の種類 |  金額 |  備考 |  |
|  △銀行　△支店 |  外貨預金 |  ＵＳ＄10,000 |  |
|  △証券 |  ○会社株式 |  約　　　円相当 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ３　債務者の収入　　債務者の収入状況について　　□　債務者の収入は不明。　　□　債務者は次の収入により生活していると思う。 □　給与・役員報酬 □　自営業収入 □　不動産収入 □　年金 □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　（証明資料がある場合）次の□にレを付した資料の写しを添付する。　　□　給与支払明細書又は賞与支払明細書　□　所得税の源泉徴収票　　□　確定申告書控え　　□　年金証書等　□　収入の振込口座の預貯金通帳　　債務者の収入金額は　　□　不明　　□　税込みで　（□　月額　□　年額） 万円くらいだと思う。４　債務者の支出　　債務者の支出状況について、私が知っている点は次のとおりである。 |
|
|  | ５　債務者に対する強制執行の状況について　□　私は、現在、未払分について給料その他の財産に対する強制執行の手続中であ　　る。　　□　差押えの事件の事件番号　　　　　　　地方裁判所　　　　支部　　　　　令和　　年（　　）第　　　　号　　　　　事件　　この手続の進行状況は現在、次のとおり。　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　□　私は、債務者に対し、今後、未払分について直接、給料その他の財産に対する強　　制執行を申し立てる予定はない。　　理由は、□　債務者に差し押さえるべき財産がない。　　　　　　□　債務者に差し押さえるべき不動産はあるが、担保権がついているなど　　　　　　　の事情から差押えをしても回収の見込みがない。　　　　　　□　差押えの手続をとったが、回収できなかった。　　　　　　　　　　　地方裁判所　　　　支部　　　　　　　　　令和　　年（　　）第　　　　号　　　　　　事件　　　　　　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　□　私は、債務者に対して、現在のところ、未払分について給料その他の財産に対す　　る強制執行を申し立てていないが、間接強制をしても支払ってもらえなかった場合　　は、直接の強制執行を申し立てるつもりがある。 |  |